

ガスふろ給湯器

保証書付

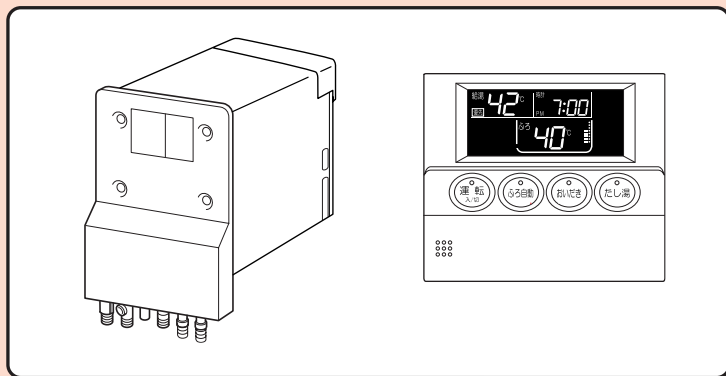
パックイン

外壁貫通設置形

131-K940型

型式名 WF-805AT-4

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 この説明書の裏表紙と37ページが保証書になっています。保証書に記載されている
 保証期間、保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。
 なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへお問い合わせ
 ください。



特長・機能の紹介

- 1 スイッチポンでお風呂が沸かせます。
 浴そうの排水栓とふたをして（お風呂自動）スイッチを押せば、あらかじめ決めて
 おいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



（お風呂自動）スイッチを押して沸き上げ完了後から設定した保温時間なら、お湯がさめれば
 自動で保温し、お湯が減れば自動でたし湯します。

- 2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。
 リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37 ~ 60 まで設定できます。




目次

特に注意していただきたいこと	1~6
各部の名まえとはたらき	7~9
使用方法	
・初めてお使いいただくときは	10
・時刻の合わせかた	11
・お湯の出しかた	12~13
・ふろ自動運転（ふろの自動お湯はりをしたい）	14~16
・おいだき運転（ふろのおいだき・沸かし直しをしたい）	17
・たし湯運転（ふろのお湯の量を増やしたい）	18
・ぬるく運転（ふろのお湯を少しぬるくしたい）	19
・かま洗浄運転（ふろ釜内の残り湯を排出したい）	20
・ふろ自動運転予約（予約した時刻にふろを沸かしたい）	21~22
・音量を変える	23
・表示画面のモードを切替える	24
機器内部の凍結予防方法	25~26
点検・お手入れ	27~28
故障かな？と思ったら	29~31
長期間使用しない場合	32
寸法図	33
仕様	34
アフターサービスについて	35
保証書	37~38

特に注意していただきたいこと

機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

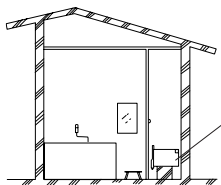
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行なう事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気厳禁		電源プラグを抜く
	発火注意		接触禁止		ぬれた手の接触禁止

危険

機器の設置

この機器は、屋外用（壁貫通型）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



禁止

危険

ガス漏れに気づいたとき

すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じ、窓や戸を開けてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

お買い求めの販売店や大阪ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」や周辺の電話を使用しないでください。

ガス爆発の恐れがあります。



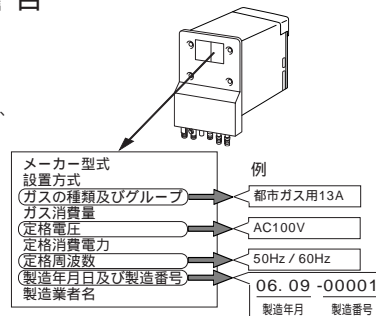
火気厳禁

警告

使用ガスの種類及び使用電源の確認

機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。

ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



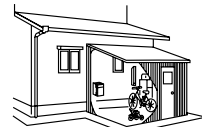
設置場所について

機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどによって、囲いをするもおやめください。増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。

変色・破損・腐食の原因となります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮してください。（機器の点検修理のための空間については、お買い求めの販売店または大阪ガスにお問い合わせください。）



禁止

ガス接続

この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い求めの販売店または大阪ガスに依頼してください。

使用中の外出、就寝禁止

ふる自動運転予約を使用時以外は、火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。火災の原因になります。

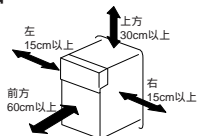
警告

燃えやすい物とは離す

(樹木、木材、箱など)

木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ(メーカー市販品: WF-SLV)を使用し、10mm以上の隔離距離を確保してください。

火災予防のため。



必ず行なう

火災予防

排気口の上や周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かないでください。機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを置いたり使用しないでください。

引火して火災の恐れがあります。機器の周囲や排気口トップにスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。



発火注意

やけどに注意

シャワーなどお湯を使用するときは、最初に熱いお湯が出る場合があります。手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用してください。

やけどのおそれがあります。

入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。追いだき中や追いだき後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかき混ぜてから手で湯温を確認してください。

やけどのおそれがあります。

お風呂沸かし時や追いだき時は、循環アダプタ付近は熱くなりますので循環アダプタの下の吐出口に手や体を近づけないように注意してください。

シャワー使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。

突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水がでて思わぬ事故につながる場合があります。



高温注意

子供に対する注意

浴そうの循環アダプタの付近で水に潜ったりしないでください。思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

子供を浴室で遊ばせないようにしてください。

浴そうに落ちますと思わぬ事故につながる場合があります。



禁止

異常時の処置

点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス元栓を閉めて29～31ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。処置をしても直らない場合は、使用を中止しお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓及び給水元栓を閉めてください。



【ガス栓の例】

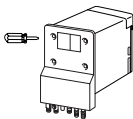


【給水元栓の例】



分解禁止

修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客さまご自身では工具を使用して分解したり修理・改造は絶対に行わないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

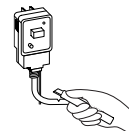


分解禁止

警告

電気事故の防止

電源コードを切断して延長しないでください。電源コードが届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。



禁止

電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。痛んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ぬれた手でコンセントの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



ぬれた手の接触禁止

電源コードを引っばって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



禁止

機器本体に無理な力を加えない

機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らないでください。けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

ソーラー接続禁止

この機器をソーラーシステムに接続しないでください。ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをするおそれがあります。

注意

シャワーセット使用時のご注意

高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。

やけどの恐れがあります。

高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので注意してください。

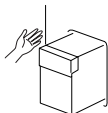


高温注意

やけどにご注意

使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。

特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



接触禁止

給気口や排気口に指や棒を入れない

給気口や排気口に指や棒を入れないでください。

故障やけがの原因となります。

用途について

この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。思わぬ故障の原因になります。

運転停止（消火）時のご注意

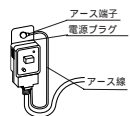
燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。

機器の故障の恐れがあります。

電気事故防止

アース線をアース端子に取付けてください。

感電する恐れがあります。



アース接続

お願い

ガス事故防止

機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

業務用としての使用禁止

この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

入浴剤や洗剤の使用について

硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

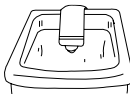
入浴時のご注意

浴そう内の循環アダプタをタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふるのおいだきができません。

また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれると、故障の原因になることがあります。



禁止



市販の補助用具使用について

この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。

機器の異常の原因になることがあります。

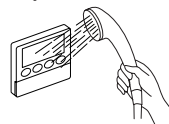
お願い

リモコンの掃除

リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については27ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。



禁止

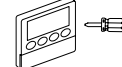


リモコンの分解禁止

リモコンは分解しないでください。



分解禁止



電気事故防止

電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。

プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

雷が発生しているとき

雷が発生しはじめたら、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。

機器が故障する恐れがあります。



電源プラグを抜く



飲用についてのご注意

しばらく使わなかったとき、はじめにでてる水は飲んだり調理に用いないでください。

地下水や井戸水または温泉水で使わない

水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

断水時のご注意

断水時には運転を停止し、給湯栓を閉じて下さい。給水栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。復帰した後、お使いははじめのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。

断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。

通水使用の禁止

運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を流したり、シャワーを浴びたりしないでください。

機器内の通水部分に結露現象が発生し、故障の原因になります。

積雪時の注意

積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

停電のとき

この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。停電中は全ての動作を停止します。この場合は、蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を開けてください。停電復帰後も自動的に運転されませんので、10～24ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

機器内部の凍結予防について

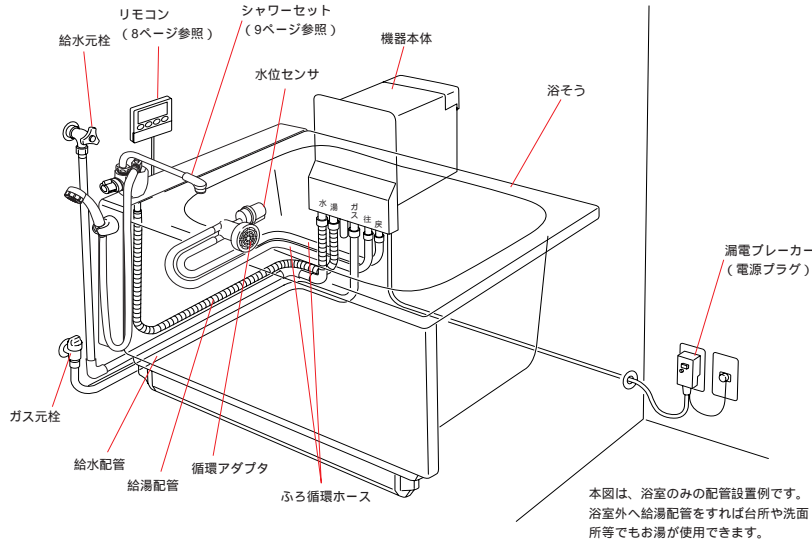
機器内部の凍結予防は、25～26ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合

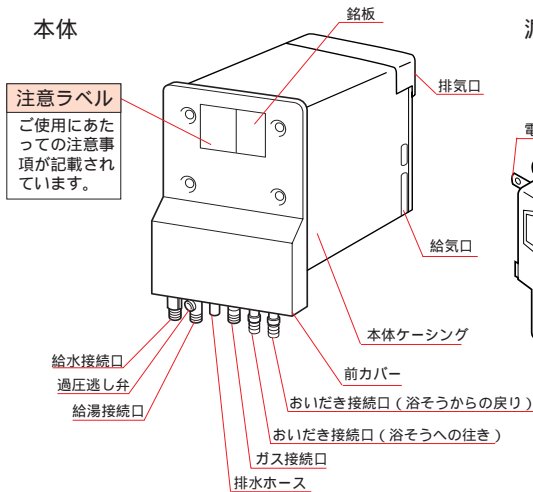
長期間使用しない場合は、凍結および万が一のガス漏れを防止するため、32ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

各部の名まえとはたらき

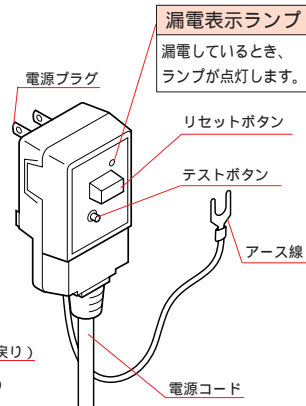
標準設置例



本体

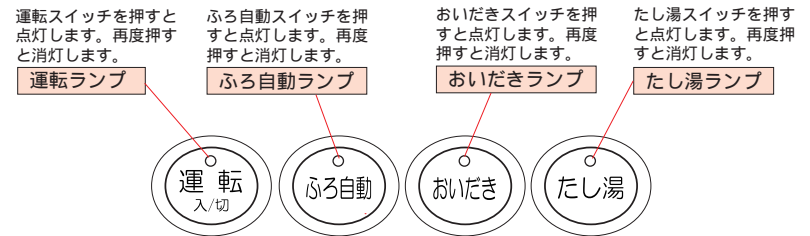
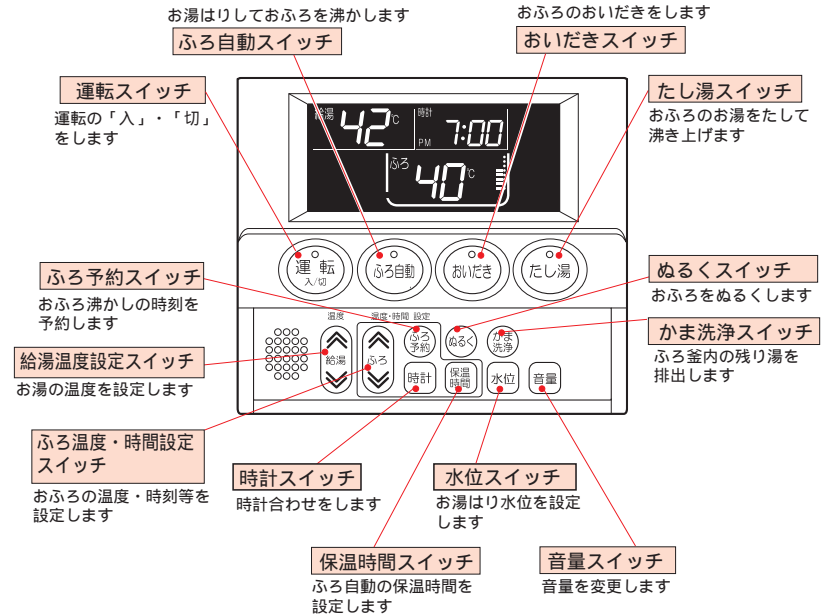


漏電ブレーカー



浴室リモコン (138-K005) 別売部品

フタを開けた状態



表示部

給湯表示部

- ・給湯設定温度
- ・高温注意表示

時刻表示部

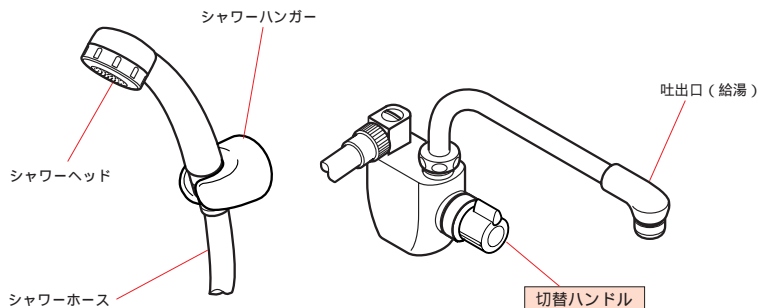
- ・時刻表示
- ・ふろ予約時刻表示
- ・ふろ保温時間表示
- ・エラー表示



ふろ運転表示部

- ・各種運転表示
- ・お湯張り水位表示
- ・ふろ自動設定温度表示
- ・お湯張り動作表示

シャワーセット (別売部品 J-157-0405)



右にまわすと吐出口 (給湯) 側、
左にまわすとシャワー側から吐水し、
真中の位置で止水します。

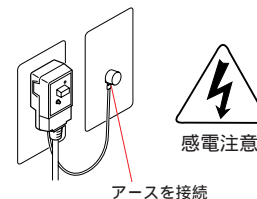
J-157-0405以外をお使いの場合はシャワーセットに付属の説明書をご覧ください

使用方法 初めてお使いいただくときは

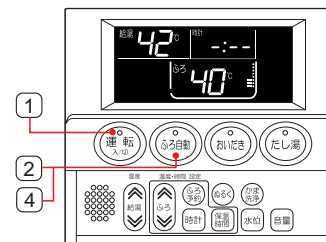
使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水元栓をいっばいに開けます。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。
3. ガス栓を全開にします。
4. 電源プラグ (漏電ブレーカー付) を根元まで確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。
5. ポンプの呼び水をします。



- ① 運転スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。
- ② 自動スイッチを押す。
「ふろ自動ランプ」が点灯します。
- ③ 浴そうの循環アダプタからお湯が出てくることを確認します。
- ④ 自動スイッチを押す。
「ふろ自動ランプ」が消灯します。

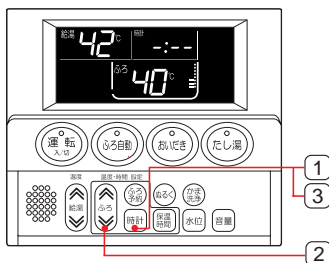


!!! が点滅したら

はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、浴室リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード「!!!」が点滅し給湯不着火をお知らせします。このような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、運転スイッチを押してエラーを解除し、再度自動スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を、2～3回繰り返してください。

使用方法 時刻の合わせかた

現在時刻の合わせかた



時刻表示部初期状態



「 --- 」が点滅しています。

- ① **時計** を押します。



「時計」「設定」が点滅します。

- ② ふろ温度・時間設定スイッチで時刻を合わせます。

▲ を1回押すと1分進み、▼ を1回押すと1分戻ります。

長押しすると10分単位で変わります。



「時計」「設定」が点滅します。

- ③ **時計** を押して確定します。



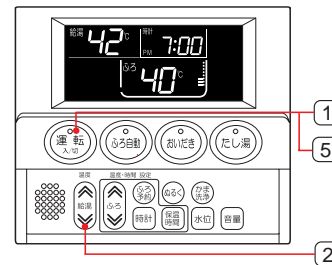
「時計」「設定」の点滅が止まり、「設定」が消灯し、「:」が点滅します。



時刻設定をしてください

現在時刻の設定がされていないと、「ふる自動運転予約」機能は動作しません。

使用方法 お湯の出しかた



お湯を使いたい 器具運転開始

- ① **運転** を押します。

「運転ランプ」が点灯します。

給湯表示部に「給湯」・設定温度が点灯されていることを確認します。



- ② 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。

リモコンから『給湯温度が変更されました』と、音声でお知らせします。給湯温度の表示は目安ですが、37～50、60 の15段階に設定できます。

(37～50 間は、1 きざみ)

スイッチは1回押すたびに1段階ずつ調節できますが、▲ スイッチを押し続けると45 まででは速く動きます。

一度設定すれば記憶します。

(電源投入時または停電復帰後は、42 設定となっています)

- ③ シャワー栓または給湯栓を開けます。

燃焼を開始し、給湯表示部に ▲ が点灯します。

しばらくしてお湯が出ます。

(お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)



給湯ご使用上の注意点

給湯中においだし、またはおいだき中に給湯を使用すると、リモコンの「おいだし」表示が点滅し、おいだし運転が待機状態となります。給湯使用を終了すると「おいだし」表示が点灯に変わり、おいだし運転を開始します。

シャワー・給湯停止 器具運転停止

- ④ シャワー栓または給湯栓を閉めます。

燃焼が止まり、給湯表示部の ▲ が消灯します。

(再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。)



- ⑤ もう一度 **運転** を押す。

「運転ランプ」が消灯します

⚠ やけどに注意

やけどに注意

湯温を確認してから使用してください。

シャワーセット使用時のご注意

高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。

高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯がでる恐れがありますので注意してください。

⚠ 運転を再開する場合

運転停止後再び **運転** スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37 ~50 のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60 であったときは安全のため42 に戻ります。

使用方法 ふろ自動運転...ふろの自動お湯はりをしたい

運転前の準備

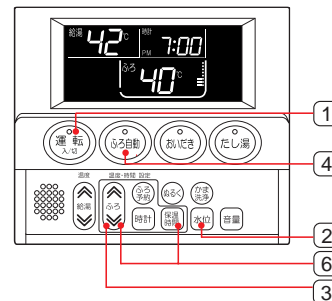
1

排水栓を閉めます。
お風呂を沸かす前に必ず排水栓を閉めます。



2

浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。



⚠ 排水栓はしっかりと

浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約1時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

ふろ自動運転の使用方法

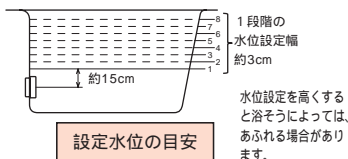
① **運転** を押します。

「運転ランプ」が点灯します。

② **水位** を押してお湯はり水位を設定します。

水位 スイッチを押す毎に、希望の水位を1~8の8段階まで選べます。一度設定すれば記憶します。(電源投入時または停電復帰後は、水位3の位置になっています)

水位の目安は、循環アダプタの中心から上方約15cmから約3cmきざみの8段階となっています。



③ ふろ温度・時間設定スイッチの **温度** / **時間** でお好みのお湯はり温度に設定します。

リモコンから『ふろ温度が変更されました』と、音声でお知らせします。お湯はり温度は、目安ですが、約37から48 の範囲で1 ずつ設定できます。
温度 スイッチを押し続けると45 までは速く動きます。



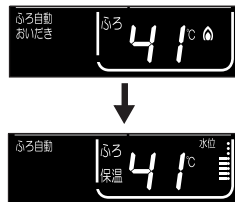
4 〇を押します。

「ふる自動ランプ」が点灯、給湯表示部に^④、ふる運転表示部に「ふる自動」、「湯はり」が点灯し、^④マークが動き自動的にお湯はりが開始されます。ふる自動運転開始時に、リモコンから『お湯はり運転を開始します』と、音声でお知らせします。お湯はり中、給湯設定温度の変更はできません。



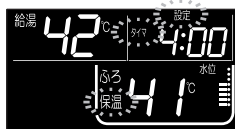
5 沸き上がると自動でストップします。

お風呂の設定水位までお湯はりを完了すると、お湯が止まり沸き上げ運転に入ります。ふる運転表示部に「ふる自動」、「おいだき」、^④が点灯します。設定温度までの沸き上げが終了しますと^④、「おいだき」が消灯、「保温」が点灯し、リモコンからメロディと音声『お風呂が沸きました』でお知らせします。「保温」が点灯（初回の沸き上げ完了）するまで^④、^④、^④スイッチは受け付けません。



6 保温時間を設定できます。

^④スイッチを押すと、時計表示部に保温時間を表示し「タイム」、「設定」、「保温」が点滅します。（電源投入時または停電復帰後は、4時間設定となっております）ふる温度・時間設定スイッチの^④/^④スイッチを押し、保温時間を設定します。一度設定すれば記憶します。4時間 3時間30分 3時間（30分刻み）... 30分 0分再度^④スイッチを押して保温時間が点灯し確定します。リモコンから『保温時間が変更されました』と音声でお知らせします。約3秒後時計表示に戻ります。



7 自動保温・自動たし湯運転となります。

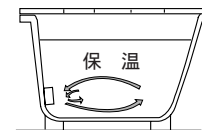
初回の沸き上げ完了から、設定した保温時間が経過するとふる自動スイッチの「ふる自動ランプ」が消灯し、自動運転を終了します。途中で、^④スイッチまたは^④スイッチを押すと、自動運転を停止します。

! ふる自動運転ご使用上の注意

電源投入時または停電復帰後のふる自動の温度は40、保温時間は4時間設定となっております。浴そうに残り湯がある場合も^④スイッチを押すだけで、設定水位までお湯はりし、沸き上げます。リモコン表示部に保温が点灯中は^④、^④、^④のいずれかのスイッチを押しても自動保温・自動たし湯は解除されません。

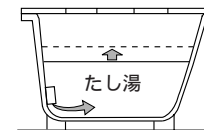
お湯の温度が下がったら、自動であたためます。

保温中は約20分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定した温度までおいだきます。このとき、ふる運転表示部の^④が点灯します。保温中にふる自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低めに設定を変えても、浴そうの湯温はそのままで、この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。自動保温機能は、初回の沸き上げ完了から設定した保温時間作動します。



お湯が減れば自動でたし湯します。

お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から、約3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯をたし湯し、その後設定した温度までおいだきます。このとき、ふる運転表示部の^④が点灯します。自動たし湯機能は、初回の沸き上げ完了から設定されている保温時間の間、作動します。



保温運転中に^④スイッチを押せば、さらにたっぷりのお湯で入浴できます。



自動運転停止

ふる自動運転を途中で止めたいときは、再度^④スイッチを押します。「ふる自動ランプ」が消灯します。ふる運転表示部の「ふる自動」、「湯はり」が消灯します。

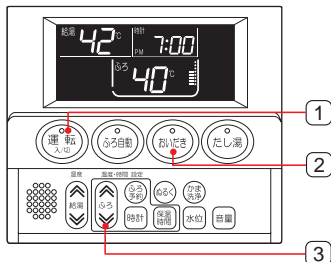
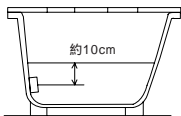
! 自動お湯はり中の給湯使用について

自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできませんが、給湯の温度はふるの設定温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。自動お湯はり(沸き上げ運転)中、自動保温(おいだき運転)中に給湯を使用した場合、給湯運転が優先になります。この時、リモコンの「おいだき」表示が点滅し、おいだき運転が待機状態となります。給湯使用を終了すると「おいだき」表示が点灯に変わり、おいだき運転を開始します。

使用方法 おいだき運転...ふろのおいだき・沸かし直しをしたい

運転前の準備

循環アダプタのキャップが充分つかる程度（循環アダプタ中心より約10cm以上）のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだき運転はできません。



使用方法

- 1 を押します。

「運転ランプ」が点灯します。

- 2 を押します。

リモコンから『おいだき運転を開始します』と、音声でお知らせします。
「おいだきランプ」、「おいだき」が点灯して、ポンプがまわり浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。しばらくしてふる運転表示部の が点灯し、ふるのおいだきを始めます。



- 3 ふる温度・時間設定スイッチの でお好みのお湯はり温度に設定します。

おいだき温度の表示は目安ですが、37～48 の範囲で1 ずつ設定できます。

（電源投入時または停電復帰後は、40 設定となっています）

スイッチは1 回押すたびに1 段階ずつ調節できますが、 スwitch を押し続けると45 までは速く動きます。

おいだき温度を変更してもふる自動温度は変更されません。



- 4 沸き上がると自動でストップします。

「おいだきランプ」、ふる運転表示部の、「おいだき」が消灯し、約30秒後にお湯の循環が止まります。途中でおいだきを止めたいときは、再度 スwitch を押します。

おいだき運転ご使用上の注意点

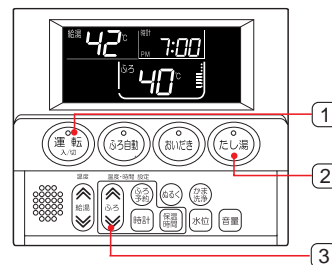
おいだき中に 、、 のいずれかのスィッチを押すと、おいだき運転を終了し、各々の動作に移ります。

給湯中においだき、またはおいだき中に給湯を使用すると、リモコンの「おいだき」表示が点滅し、おいだき運転が待機状態となります。給湯使用を終了すると「おいだき」表示が点灯に変わり、おいだき運転を開始します。

おふる沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふる沸かしをする場合は、「ふる自動運転」をおすすめします。



使用方法 たし湯運転...ふろのお湯の量を増やしたい



使用方法

- 1 を押します。

「運転ランプ」が点灯します。

- 2 を押します。

「たし湯」が点灯し、 マークが動きます。浴そうの循環アダプタから、お湯（約20リットル）のたし湯が出て給湯表示部に が点灯します。



- 3 たし湯温度を変更できます。

ふる温度・時間設定スイッチの スwitch を押してたし湯温度が変更できます。たし湯温度の設定は37～48 の範囲の1 刻みで設定できます。

（電源投入後または停電復帰後は40 となっています）
音声でお知らせします。『ふる温度が変更されました』
たし湯温度を変更してもふる自動設定温度は変更されません。



- 4 たし湯温度まで沸き上げます。

約20リットルの注湯が終了すると マークが消灯、「おいだき」とふる運転表示部の が点灯し、たし湯の設定温度までおいだきします。

「たし湯」、「おいだき」、 が消灯し、沸き上がり停止します。

たし湯終了後、ふる自動設定温度表示に戻ります。

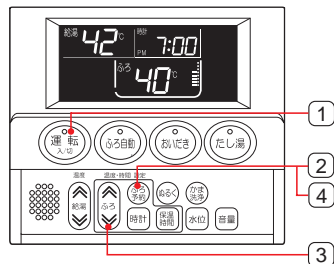
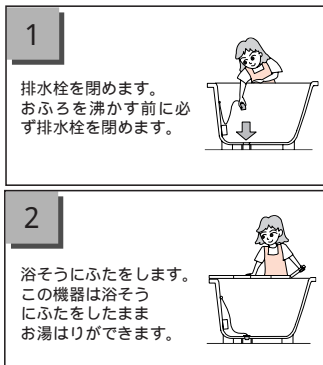


途中でたし湯運転を止めたいときは または再度 を押してください。

たし湯温度は、記憶されません。次のたし湯運転開始時のたし湯温度は、ふる自動の温度になります。たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、その分だけ、たし湯量が減少します。たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度は、たし湯温度になります。たし湯中に 、、、 スwitch を押すと、たし湯運転を終了します。たし湯（沸き上げ）中に給湯を使用した場合、給湯運転が優先になります。この時、リモコンの「おいだき」表示が点滅し、おいだき運転が待機状態となります。給湯使用を終了すると「おいだき」表示が点灯に変わり、おいだき運転を開始します。

使用方法 ふろ自動運転予約...予約した時刻にふろを沸かしたい

運転前の準備



予約時刻設定

- 1 **運転** を押します。
「運転ランプ」が点灯します。
- 2 **予約** を押します。
「予約」「設定」が点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。
(電源投入時、または停電復帰時は、「PM7:00」表示になっています。)
- 3 ふろ温度・時間設定スイッチの で予約時刻 (入浴したい時刻) を設定します。
押す度に、1分ずつ変わります。
押し続けると、10分ずつ早送りできます。
(例、PM 8時に予約)
- 4 もう一度 **予約** を押します。
「予約」「設定」が点灯し、予約時刻が確定されます。
約3秒後にリモコンから『ふろ運転の予約を受け付けました』と、音声でお知らせします。
現在時刻表示に戻ります。
ふろ自動運転予約待機となります。



約3秒後



現在時刻にもどる

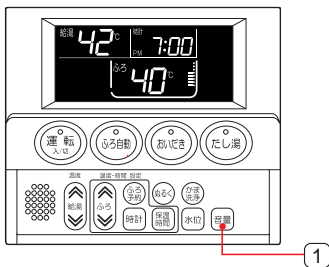
予約運転の開始

予約した時刻の約45分になると、「ふろ自動ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
(現在時刻から、約45分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。)
自動お湯はりが終了し、ふろ設定温度まで沸き上げると、メロディと音声『お風呂が沸きました』にてお知らせします。
初回の沸き上げ完了から設定した保温時間の間は、自動たし湯・自動保温運転を続けます。

! 予約自動運転ご使用上の注意点

現在時刻の設定がされていないと「ふろ自動運転予約」機能は動作しません。(11ページ参照)
ふろ自動運転予約待機中に、予約解除するときは、**予約** スイッチを押してください。
ふろ自動運転予約待機中に **運転**、**予約**、**おひさま**、**おひさま**、**おひさま**、**おひさま**、**おひさま**、**おひさま** スイッチを押すと、予約は解除されます。
沸き上がりメロディと音声は、予約時刻にかかわらず、沸き上げ完了時に報知します。
浴槽に、前日の残り湯が残っている場合(水からの沸き上げ)など、予約した時刻までに沸き上がらないことがあります。
ふろ自動運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

使用方法 音量を変える



使用方法

- ① 音響 を押します。

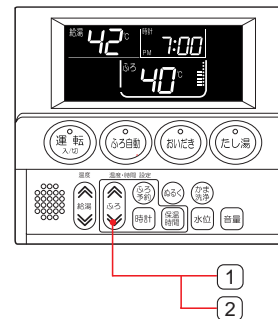
スイッチを押すたびに切替わります。



小 : 『音声は小です。』
標準 : 『音声は標準です。』
大 : 『音声は大です。』
消す : 『音声を消します。』
とお知らせします。



使用方法 表示画面のモードを切替える

表示画面のモードを節電モード / 常時点灯モードに切替えをおこないます。



- ① ふろ温度・時間設定スイッチの   を同時に約3秒間押します。

切替え音「ビッピッ」でお知らせします。
節電モードから常時点灯モードに切替わります。
表示画面が点灯します。

- ② もう一度節電モードにする場合は、ふろ温度・時間設定スイッチの   を同時に約3秒間押します。

切替え音「ビッピッ」でお知らせします。
常時点灯モードから節電モードに切替わります。
表示画面が消灯します。

お知らせ

通常は、節電モードをおすすめします。
節電モードでは、30分間、操作しないと画面表示が消灯します。
操作すると点灯します。
電源投入時または停電復帰時は節電モードになります。
節電モードでも給湯設定温度が60 に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。

機器内部の凍結予防方法

凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

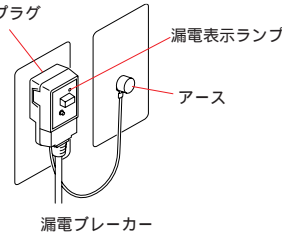
1. 通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

電源プラグをコンセントに入れた状態にします。電源プラグ抜けていると作動しませんので、注意してください。

漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。

点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。

(28ページ参照)



この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。

凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

⚠ 凍結予防に関する注意点

ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時・-15℃まで、有風(4m/秒)時・-10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。

ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。

この機器は外気温が-15℃以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。

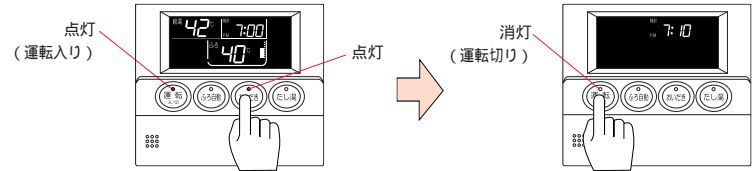
(32ページ参照)

2. 冷え込みの厳しいときの予防方法

おいだき側(ポンプの水抜き方法)

浴そうの水をぬきます。

①スイッチを入りにして、②スイッチを押します。このときポンプの音が大きくなりますが、ふる循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。浴そうの循環アダプタから水の排出が無くなったなら③スイッチを切りにしてください。



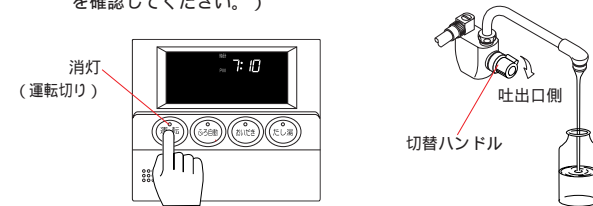
給湯側(通水による方法)

(1) リモコン①スイッチを切りにします。

「運転ランプ」が消灯します。

(2) ガス栓を閉めます。

(3) お風呂のシャワーセットの切替ハンドルを吐出口側にまわし、1分間に400cc(牛乳びん2本分)ぐらいの水を浴そうに流し込みます。(流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。)



これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行ってください。(32ページ(長期間使用しない場合)参照)



⚠ 凍結したときは

凍結により、給湯栓・シャワー栓・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。

再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。

凍結により、機器が破損した場合、高額な修理費用がかかります。(保証期間でも有料)

万一、機器や配管から水漏れるなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの大販ガスまでご連絡ください。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください


現象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。 (28ページ) 停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	ガス元栓が全開になっていますか。 給水元栓が全開になっていますか。 断水ではありませんか。 リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 凍結していませんか。(25,26ページ)
あついお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ガス元栓が全開になっていますか。 給湯またはシャワーを2ヶ所でも同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 水量を絞りすぎていませんか。(夏) 給水元栓が全開になっていますか。
お湯がでない	浴そうの水(湯)がふろ循環アダプタより上にありますか。 呼び水をしましたか。(10ページ)
お湯がすぐ消火してしまう	ふろお湯温度設定が低くなっていませんか。 循環アダプタキャップがはずれていませんか。(28ページ) 循環アダプタキャップの向きは、正しいですか。(28ページ)
浴そうの上下の温度差が大きい	循環アダプタキャップの向きは正しいですか。(28ページ) 循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。(28ページ)
設定した温度、時刻などが記憶されていない	停電が起きていませんか。 1秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、時刻、水位が初期値になります。(28ページ)
浴そうの水位が低くなった	循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。(28ページ)
お湯がでない (リモコンの「お湯」表示が点滅する)	給湯またはシャワーを使用していませんか。(17ページ)

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処置
1 1 1	給湯不着火	ガス元栓の全開を確認し、運転スイッチを切りエラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出る場合は修理依頼してください。
1 2 1	給湯使用時、途中消火(失火)	
1 1 2	ふろ不着火	
1 2 2	ふろ使用時、途中消火(失火)	
1 4 0	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出る場合は、修理依頼してください。
2 5 2	ふろ循環系統の故障または異常	浴そうの循環アダプタキャップが充分につかるまで水(湯)がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出る場合は、修理依頼してください。



リモコン表示ランプが点滅しているときは

この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。(上表で確認してください。)
エラーコードの点滅解除は、 スイッチを押します。
機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード(511, 512, 311, 331, 322, 432, 721, 722, 611, 310, 700, 710など)が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店か、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
使用中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、28ページの手順で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

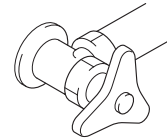
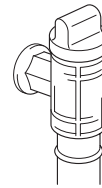
長期間使用しない場合

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後30秒間はポンプを回転させてお風呂のお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温お湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふる自動お湯はりまたは、おいだきを始めると循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。使い始めと使い終わりに少量のお湯が出ますが異常ではありません。給水圧が低い場所で給湯と自動お湯張り等を同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へもお湯を排水しますが異常ではありません。大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞らずぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞らずぎる（約2L/分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯がでない。	夏期水温が30 近くになりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
ふる自動お湯はり中に、配管から音がする。ふる循環アダプタから白いお湯が出る。	水圧が高い場合など配管から音がします。また、水量を絞っているため、お湯が白くなる場合があります。
あついお湯が出ない。	冬期など入水温度が低いときに60 設定されますと、設定温度どおりのお湯が出ない場合があります。
給湯量が変化する	入水温度の変化に応じて、給湯量を自動的に制御しています。夏期は給湯量が多く、冬期は少なくなります。異常ではありません。
おいだきができない、（リモコンの「おいだき」表示が点滅する）	この機器は給湯使用中においだき運転をするまたは、おいだき運転中に給湯を使用した場合、給湯運転を優先します。この時、リモコンの「おいだき」表示が点滅し、おいだき運転が待機状態となります。給湯使用を終了すると「おいだき」表示が点灯に変わり、おいだき運転を開始します。

長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

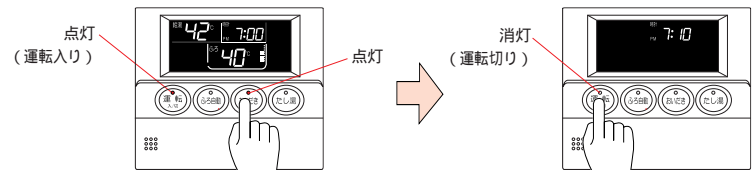
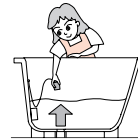
1. ガスの元栓を閉じる。
2. 給水元栓を閉じる。



3. 機器の水抜きを行う。

水抜きの手順

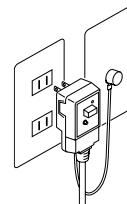
- (1) 給水、給湯配管に水抜き栓がある場合は、水抜き栓を外す。
- (2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。
- (3) 浴そうの水を排水する。
- (4) 点灯スイッチ入りにして、点滅スイッチを押し、ふる循環アダプタから水の排出が無くなったなら、点滅スイッチを切りしてください。



このときポンプの音が大きくなりますが、ふる循環ホース内の水を排水していますので、異常ではありません。

4. 電源プラグをコンセントから抜く。

給水及び給湯配管に水抜き栓がない場合は電源プラグをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。

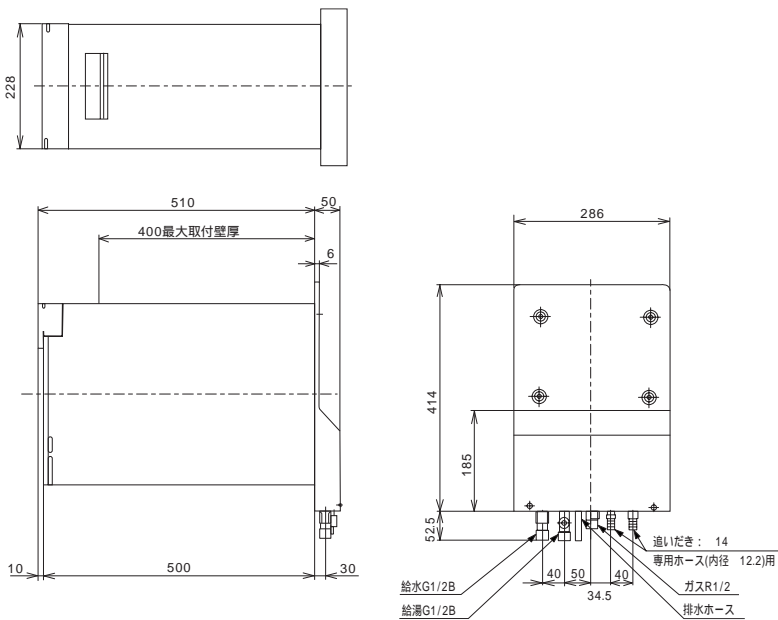


再使用については10ページの「初めてお使いいただくときは」にしたがってください。

寸法図

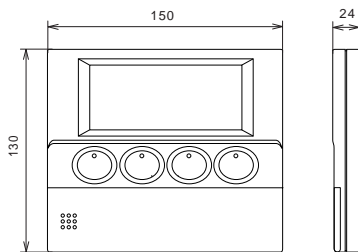
本体

単位：mm



浴室リモコン（別売部品）

単位：mm



仕様

仕様表

項目	仕様	
外形寸法（本体）	幅286×高さ467×奥行560mm	
壁貫通部寸法	幅228×高さ332×奥行510mm	
質量（本体）	22 kg	
接続寸法	ガス	R1/2（TU接続）
	給水・給湯	G1/2B
	ふる循環	14mm専用継手
標準ガス消費量 kW	ガス質	13A
	給湯 最大	18.0（15,500kcal/h）
	給湯 最小	5.8（5,000kcal/h）
電気定格	ふる	9.9（8,500kcal/h）
	電源	AC100V（50 / 60Hz）
	消費電力（ふる使用時）	100 / 110W
凍結予防用ヒーター	64 W	
最低作動水圧	19.6 kPa（0.2kgf/cm ² ）	
使用水圧	53.9（動水圧）～784kPa（0.55～8kgf/cm ² ）	
制御システム	給湯	フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御
	ふる	温度設定沸上げ（37～48）、（給湯比例制御追従式）
	ファン制御	DCファンによる回転数制御
排気温度	260 以下	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・立消え安全装置 ・過熱防止装置 ・ファン回転検知 ・沸騰防止装置 ・漏電ブレーカー ・過圧逃し弁 ・残火安全装置 ・凍結予防用ヒーター 	

出湯能力

*印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数（号）	温度上昇と標準出湯量（リットル/分）					
		水温+15	水温+25	水温+30	水温+40	水温+50	
13A	能力大	8.2	*13.7	8.2	6.8	5.1	4.1
	能力小	2.5	4.1	2.5	-	-	-

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて



メモ欄として活用してください。

アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に

「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名・・・・・・・・・・ガスふる給湯器バックイン
2. 大阪ガス商品コード・・・器具の前面上部に貼付してあります
3. 故障、異常の現象、エラーコード・・・できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

例)

(N) 131-K940

大阪ガス株式会社

転居される場合

ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要になりますので、転居先のガスの種類を確認の上、買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料になります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。

保証期間経過後の故障修理について

買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

ただし、当製品製造打切後10年経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

定期点検のおすすめ（有料）

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

なお、給水用具（逆流防止装置）については、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4年～6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。